



飯能河原遊歩道 The promenade along the Hannoriver この写真は車乗入れ禁止前のものです。

© photo by Isao Yoshida

“THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS”

ロータリーの未来は あなたの手の中に

RI会長
ジョン・ケニー
2570地区ガバナー
加藤 玄 静

今を大事に

第 2388 例会 2010.5.26

例会場：マロウドイン 飯能 〒357 0021 飯能市双柳 105 8
(042)974 4000

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町 1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

<http://www.hanno.jp/~hannorc/> Eメール hannorc@hanno.jp

天 候 雨 (NO.46-48)

会 長 木川 一 男 幹 事 山川 莊太朗

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 中里(昌)君、中里(忠)君

《夜間例会》 大松閣 18:00 ~

- ・点 鐘 木川会長
- ・ソング 手に手つないで

【会長報告】

商売柄、看護学校の入学式等で鹿児島まで行くことがあります。今年、1500名程の学校で16才の高校生に向かって校長が「上善如水」ということを淡々と申されていました。

「水には3つの特徴がある。1つ目は、器によって形を変えることが出来ること。丸い器に入れば丸くなり、四角い器に入れば四角くなる。つまり相手次第、組織も水のように常に柔軟性を心掛けねばならない。2つ目は、水は高い所から低い所に流れることだ。人は低い所に行く事を嫌がるが、他の人が嫌がる事をする謙虚さも人間には必要である。3つ目は、いざとなれば能力を爆発させ力強さがあるわけで、ここぞという時に一気に攻める事がビジネスには必要である」というようなことでした。

RIでも水の問題を言っておりますが、校長は16~18才の学生に向かって自分の将来を見据えた時に、理想的な生き方の譬えとして申されたわけです。70を過ぎて今、若い学生へのそのような話を聴き、自分の姿を振り返って果たして「水のような人生」だったろうか...と感じて帰ってきました。人間基地に居られた現・航空幕僚長の方も出身は鹿児島。鹿児島県人には割合、軍人が多いのですが、そのような老子の言葉が鹿児島で聴かれた時、感銘を覚えたもので、ご披露させて頂きました。

【幹事報告】

- ・ガバナー事務所より宮崎県口蹄疫被害支援の依頼(1クラブ1万円)ご承認頂きたい。
- ・飯能RC、環境保全委員会・藤原委員長宛に沢辺市長よりツデーマーチの寄付の御礼。例会変更のお知らせ
人間RC
- ・6/24(木) 最終夜間例会 昭和の森車屋
点鐘 18:30
新狭山RC
- ・5/31(月) 5/30(日) 親睦旅行に振替
東京湾クルージング
例会曜日変更のお知らせ
所沢西RC 7/6(火)より火曜日となります。

【委員会報告】

講演会へのお誘い 森君・齋藤君・柏木君
森君：7/21(水)日野原重明先生の講演会 & コンサート。飯能RCは後援団体で、切符割当は会員1人1枚分程。ご希望の方は私まで。反響が良く残り枚数が少なくなっている状況。余分に必要な方はチラシのおざわ様までお電話をお願いします。

齋藤君：百歳近い日野原先生の話をお聴くと、プラス2、3年は長生きするようですので是非皆様お誘い合ってご参加下さい。

「新老人の会」飯能ランチ発足のいきさつ
柏木君：8年前、山を何とかしなければ、ということで朝日新聞の森林担当記者のところへ行きNPO法人地球緑化センターを紹介され

